

本編

— 目 次 —

序 調査の概要

序－1 本調査の目的・対象地域

(1) 調査名	3
(2) 調査目的	3
(3) 調査対象地域	4

序－2 調査内容

(1) 調査内容	5
(2) 検討体制	6
(3) 委員構成	7
(4) 調査スケジュール	10

1 北陸の良質な地域イメージの形成

1－1 地域イメージ形成の実施内容

(1) 実施事項	13
(2) 検討経緯	14

1－2 国内旅行における嗜好の動向・ターゲットセグメント

(1) 国内旅行に係る嗜好の動向	15
(2) 注目されるマーケット	18

1－3 北陸の魅力情報テーマの設定

(1) 北陸の魅力に係る議論	21
(2) 北陸の魅力整理	23
(3) 北陸の魅力情報（試作品）のテーマ設定	37

1－4 北陸の魅力情報（試作品）

(1) コンセプト	38
(2) 北陸の魅力情報（試作品）	39

2 北陸観光ワークショップ

2－1 北陸観光ワークショップ開催概要

(1) 開催概要	53
(2) 案内チラシ	54
(3) プログラム	56
(4) 参加者	59
(5) アンケート内容	60
(6) ワークショップ会場の様子	61

2-2 アンケート結果（一般参加者）	
（1）回答者数・回答者属性	62
（2）北陸に対する関心度（参加前）	63
（3）各魅力情報・魅力語りの評価	65
（4）魅力情報・魅力語り全体に対する評価	71
（5）観光圏のプレゼンテーションに対する評価	74
2-3 アンケート結果（旅行誌編集者・旅行代理店）	
（1）回答者数・各社の特性	76
（2）読者・顧客の北陸に対する認知度	77
（3）各魅力情報・魅力語りの評価	78
（4）魅力情報・魅力語り全体に対する評価	91
（5）観光圏のプレゼンテーションに対する評価	99
2-4 アンケート結果の整理	
（1）北陸の認知度	106
（2）魅力情報の効果	106
（3）今後の情報発信	108
3 北陸の情報発信戦略のまとめ	
3-1 全体戦略の整理	111
3-2 実施方策の整理	112
4 北陸の地域づくり活動のレベルアップ	
4-1 地域づくり活動レベルアップの実施内容	
（1）実施事項	119
（2）開催スケジュール	120
4-2 地域づくり研究会の実施結果	
（1）第1回地域づくり研究会（高岡・氷見）の結果概要	121
（2）第2回地域づくり研究会（にいかわ地域）の結果概要	142
（3）第3回地域づくり研究会（能登半島）の結果概要	164
4-3 地域づくり研究会の効果と課題	189
5 北陸の観光地域づくり戦略・全体スケジュール	
5-1 全体戦略の整理	193
5-2 実施方策の整理	194
5-3 今後のスケジュール	196

序

調査の概要



序－１ 本調査の目的・対象地域

（１）調査名

平成２１年度広域ブロック自立施策等推進調査事業

「北陸圏の交流ポテンシャルを活かした持続的な地域活性化方策の展開」に関する調査

（２）調査目的

北陸圏は、少子高齢化及び人口減少が全国より早いペースで進むことが予想されている圏域の一つである。このため、交流人口の拡大による地域社会の持続的発展を模索しており、北陸新幹線延伸に伴う交流拡大の効果を如何に活用できるかが今後の北陸の地域社会の発展を左右する大きなポイントになる。

そこで、北陸の有形・無形の地域資源を活かした魅力溢れる「北陸」の地域づくりを地域の多様な主体の連携により行うとともに、北陸の地域魅力を見え易くし北陸の地域イメージを高めることで、観光交流やビジネス交流、二地域居住等の様々な形の交流活動を活発化させることが必要不可欠となっている。

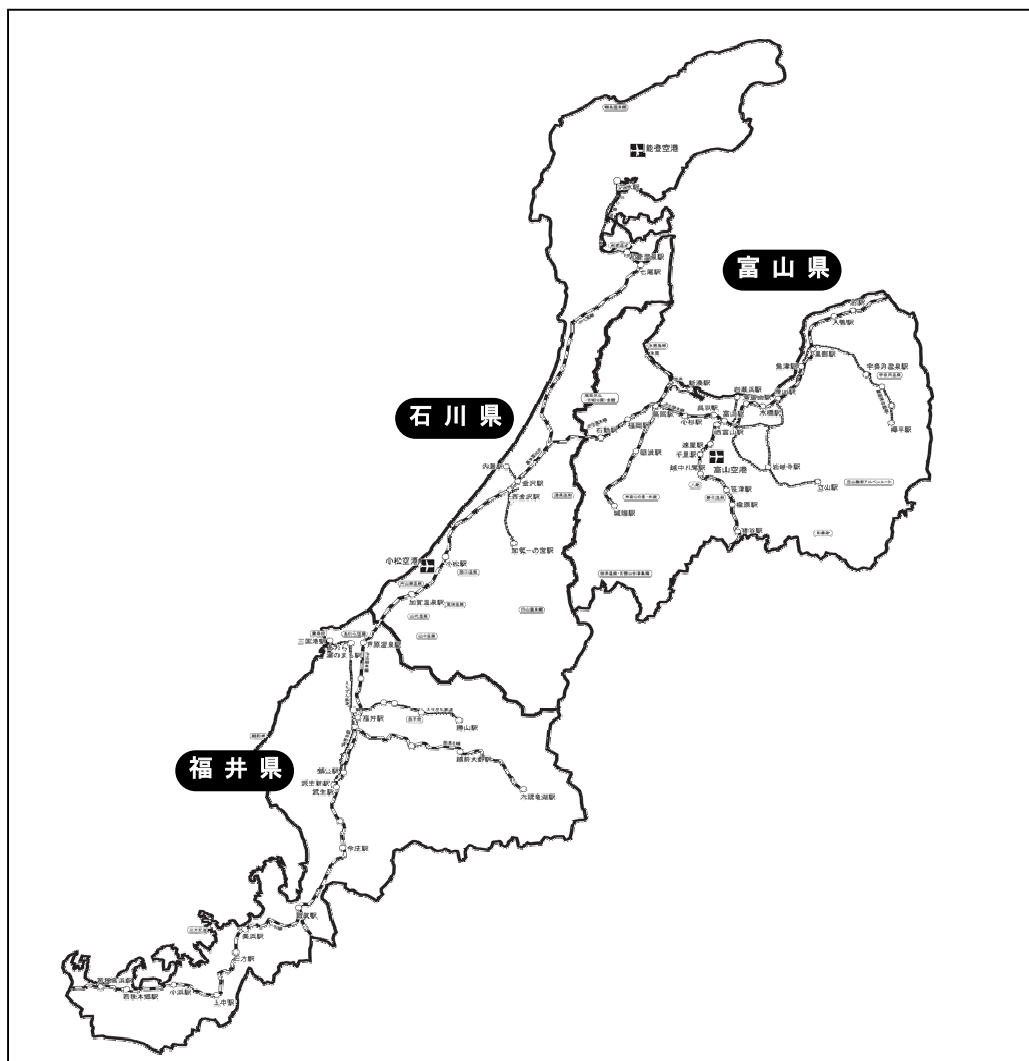
そのためには、北陸圏内のそれぞれの地域が個性的な地域の魅力づくりの取り組みを進めることはもちろんのこと、北陸における農・商・工の各分野で地域づくりに尽力している中心人物（キーマン）のネットワーク化を図り、キーマンの萌芽的・先進的取組について他の地域づくり活動への波及を促し北陸地域全体へ拡げることが必要である。また、地域のキーマン同士の評価・レビューや北陸新幹線金沢開業に伴い来訪者の拡大が見込まれる首都圏在住者など北陸地域外の他者からの評価・レビューも活用しつつ地域の魅力づくりを行うことが必要である。

一方、地域のキーマン同士のネットワーク化の活動を元に、北陸地域外からの評価・レビューを意識して、北陸の地域魅力を見えやすくすることで「北陸の良質な地域イメージ形成」を図ることも必要である。

本調査は、北陸新幹線の金沢までの開業を間近に控えた北陸圏において、「北陸」自身がいっきとした魅力溢れる地域となることにより様々な交流活動の活発化を図るため、その具体的方策として「北陸の地域づくり活動のレベルアップ」及び「北陸の良質な地域イメージの形成」に向けた試行的取り組みに関する検討を行い、もって、北陸圏広域地方計画における広域連携プロジェクトに位置づけられた「高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト」等の構想を具体化し交流活発化による北陸圏域の自立的発展及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。

(3) 調査対象地域

- ・ 広域地方計画の圏域に合わせ、北陸圏（富山県、石川県、福井県）を対象地域とする。

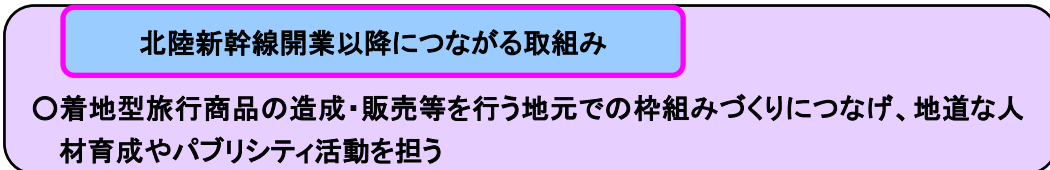
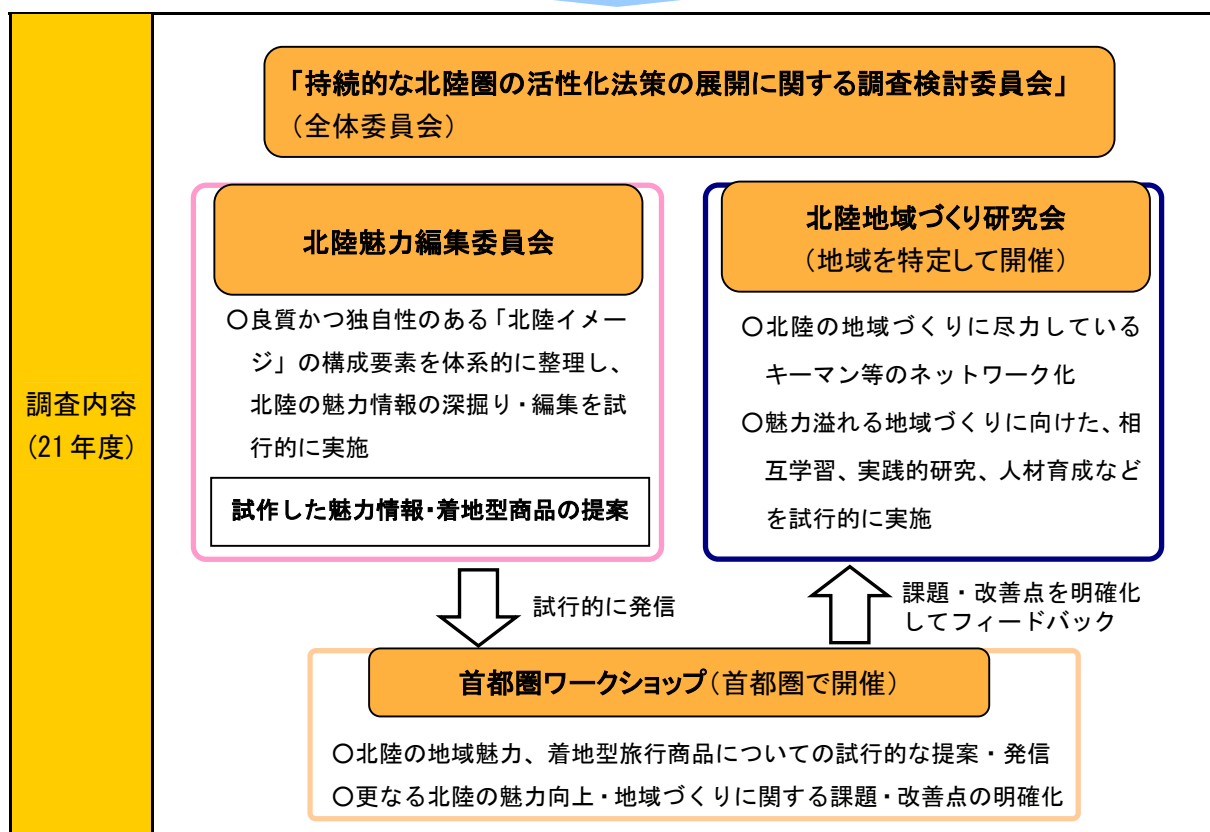


序－2 調査内容

(1) 調査内容

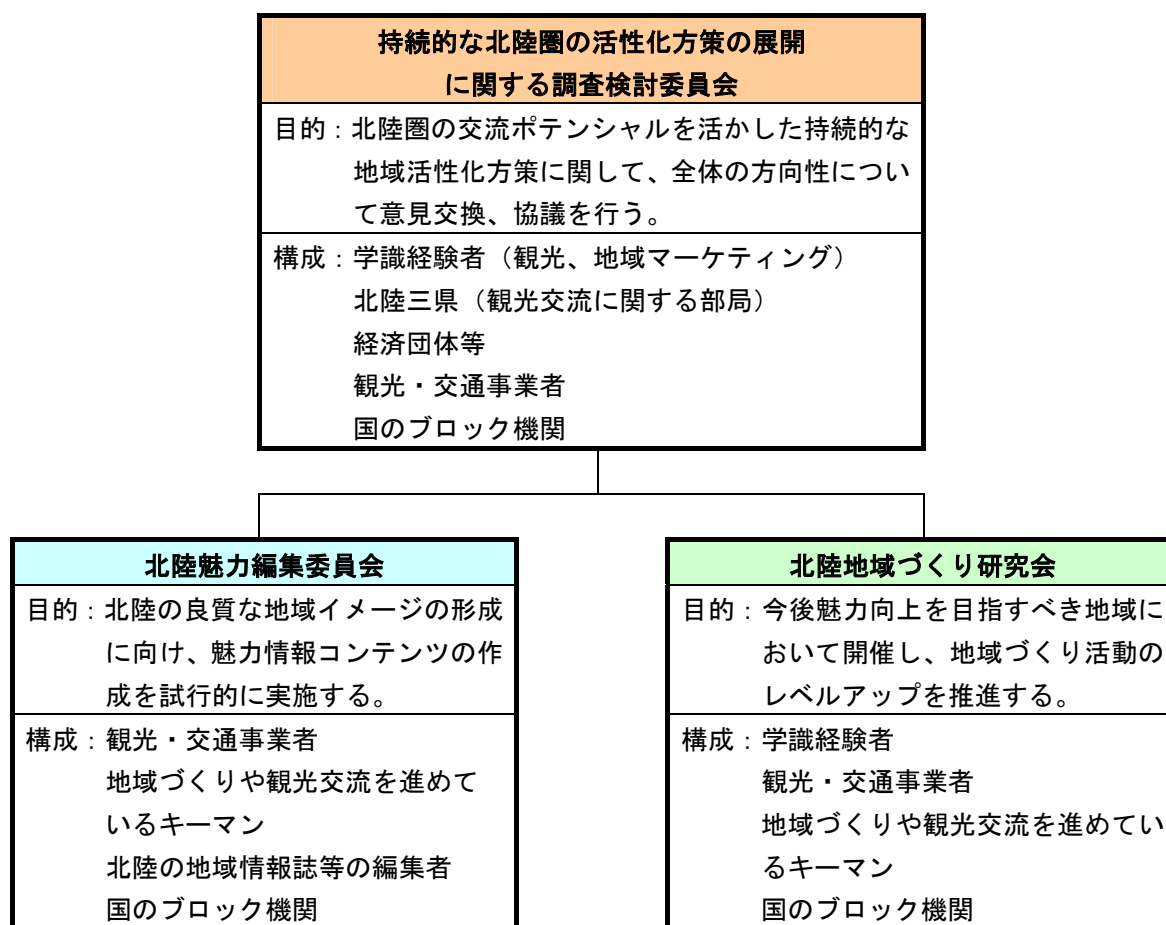
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○北陸圏は首都圏等において未だ認知度が低くイメージ形成が進んでおらず、良質かつ独自性のある地域イメージの形成が急務。 ○北陸新幹線の金沢までの開業に伴う首都圏等からの交流人口の拡大を北陸の地域経済に効果的に波及させるため、地域づくりと北陸の地場産業との効果的な連携が必要。 ○具体的な着地型旅行商品の造成を目指した実践的な場が北陸地域では不十分。 ○人材育成を持続的に行う、又はコーディネートする北陸地域での横断的な受け皿組織がない。
----	--

戦略性	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な主体の連携による魅力溢れる地域づくりに向けた地域戦略の構築を行う。 ○北陸の地域魅力を見えやすくし「北陸の良質な地域イメージの形成」を図ることにより、現在抱かれている北陸に対するマイナスのイメージを払拭する。 ○北陸新幹線の金沢延伸に向けて、多様な連携を通じた人材育成と具体的な着地型旅行商品の造成を目指す。
-----	--



(2) 検討体制

- ・北陸圏の交流ポテンシャルを活かした持続的な地域活性化方策の展開を検討するにあたり、北陸における官民の関係者を構成員とする検討組織を設立する。
- ・大局的見地から全体の方向性について協議を行う「持続的な北陸圏の活性化方策の展開に関する調査検討委員会」を設立し、その作業部会として、北陸の地域づくり活動のレベルアップを推進する「北陸地域づくり研究会」、北陸の良質な地域イメージの形成を検討する「北陸魅力編集委員会」の三組織から構成する。



(3) 委員構成

持続的な北陸圏の活性化方策の展開に関する調査検討委員会
委員名簿

氏名	所属・役職等	備考
安島 博幸	立教大学観光学部教授	
長尾 治明	富山国際大学現代社会学部教授	
戸高 秀史	富山県知事政策室 観光・地域振興局長	
三国 栄	石川県観光交流局長	
小寺 秀樹	福井県観光営業部長	
塩谷 敏文	北陸経済連合会専務理事	
沢登 次彦	(株)リクルート ジャらんリサーチセンター長	
野島 浩二	海外観光客誘客推進協議会副会長 (立山黒部貫光(株)取締役営業推進部長)	
鳥本 政雄	能登包機受入協議会代表幹事、Yokoso! Japan 大使 (加賀屋専務取締役)	
塚原 克彦	(社)日本旅行業協会石川地区会石川誘客委員会委員長 (JTB 中部取締役金沢支店長)	
友池 哲雄	中日本高速道路(株)金沢支社関連事業部部長	
小坂 誠	西日本旅客鉄道(株)金沢支社営業課長	
太田 稔	東日本旅客鉄道(株)営業部次長	
奥平 純	全日本空輸(株)金沢支店長	
中田 哲也	農林水産省北陸農政局企画調整室長	
獅山 有邦	経済産業省中部経済産業局総務企画部長	
小池 幸男	国土交通省北陸地方整備局企画部長	
柳原 拓治	国土交通省北陸信越運輸局企画観光部長	
森 勝彦	国土交通省中部運輸局企画観光部長	

※敬称略 19名

北陸魅力編集委員会 委員名簿

氏名	所属・役職等	備考
塚原 克彦	(社)日本旅行業協会石川地区会石川誘客委員会委員長 (JTB 中部取締役金沢支店長)	
久保 浩樹	西日本旅客鉄道(株)金沢支社営業課観光推進室長	
奥村 聡子	東日本旅客鉄道(株)営業部観光開発課長	
奥野 達夫	南砺市立福光美術館長 NPO法人グリーンツーリズムとやま副理事長	
岡田 基義	加賀市観光情報センターKAGA 旅・まちネット所長	
竹本 哲	(株)箔一 常務取締役	
金七 聖子	奥能登ウエルカムプロジェクト・奥能登食彩紀行のプロジェクトのチームリーダー 松波酒造(株)若女将	
石井 陽一	アイアンオー(株)副社長 (富山県の編集者)	
若井 憲	(株)橋本確文堂「自然人」編集長 (石川県の編集者)	
坪川 京子	(株)エクシート出版事業部編集長 (福井県の編集者)	
伊崎 朋康	国土交通省北陸信越運輸局企画観光部計画調整官	
市村 幸晴	国土交通省北陸地方整備局企画部事業調整官	

※敬称略 12名

北陸地域づくり研究会 委員名簿

氏名	所属・役職等	備考
長尾 治明	富山国際大学現代社会学部教授	
村瀬 伸夫	(社)日本旅行業協会中部支部石川地区会会長 (株)日本旅行北陸営業部営業部長	
久保 浩樹	西日本旅客鉄道(株)金沢支社営業課観光推進室長	
奥村 聡子	東日本旅客鉄道(株)営業部観光開発課長	
中辻 雅紀	中日本高速道路株式会社金沢支社 関連事業部関連事業チーム・チームリーダー	
田中 滋子	ロハス越前 事務局長	
健名 史朗	NPO法人なんとーeユビキタスネットワーク協議 会理事 (南砺市・城端観光協会専務理事)	
岡田 基義	加賀市観光情報センターKAGA 旅・まちネット所長	
谷内 博史	能登旨美オンパクうまみん実行委員会 石川地域づくり協会コーディネーター	
勝木 省司	(株)佐々波鰯網 代表取締役	
富山 俊二	くろべ漁業協同組合 参事	
数馬 嘉雄	能登町商工会会長、能登半島広域観光協会常務理事 (数馬酒造 代表取締役社長)	
大和久米登	NPO三国湊魅力づくりプロジェクト 副理事長 (有限会社三国湊座 代表取締役)	
大豆生田清志	農林水産省北陸農政局企画調整室調整官	
林 正実	経済産業省中部経済産業局総務企画部企画課長	
市村 幸晴	国土交通省北陸地方整備局企画部事業調整官	
伊崎 朋康	国土交通省北陸信越運輸局企画観光部計画調整官	
富本 茂	国土交通省中部運輸局企画観光部地域振興推進室長	

※敬称略 18名

(4) 調査スケジュール

